

筑波分切りも達成!! GR YARIS即攻チューン

Real Tune & Exciting Car Magazine
オプション

祝 オプション創刊
40周年YEAR突入!!

Option

あなどれない
ポテンシャル!!

02

FEB 2021

OPTION

2021年2月号(毎月26日発売)12月24日発売
第41巻第2号 通巻529号

<https://option.tokyo/>

ドコが変わった!?

A91スープラ 試乗記

S660
スーパーターボ
製作中!!



コロナに負けるな!!

東京オートサロン

Real & Virtual
行なくても楽しめる
新しい時代のイベントスタイル!!

直前情報!!



TOKYO AUTO SALON
2021

ロータリーチューンドに注目!!

Option × G-Force

スーパードラッグ
フェスティバル PART2

web option
EXCITING CAR WEB MAGAZINE
<https://option.tokyo/>



ま

さに正常進化と言える。アドバンホイールの主軸を担うRGだ。
"Racing & G y m hana"の頭文字を取ったこの鍛造1ピースモデルは、ライトウェイトからハイパワー 4WDまで幅広いスポーツモデルの足元を彩ってきた。

その第4世代となる「RG-4」では大幅なリニューアルを執行。リムエンドから一気に立ち上げられたスポークを、直線的なラインでセンターへと落とし込む。それと同時にスポーク側面には深く大きいサイドカットを刻み入れることで、漲るような躍動感を表現した。

その造形は大胆かつ繊細だ。リムエンドに繋がるスポーク形状はミリ単位で吟味され、フルフェイスデザインでありながら、リム付きにも見える高い質感まで手に入れている。

「5スポークモデルとなるTC4の兄弟モデルとでも言えましょうか。6スポークのRG-4とおなじ新しい書体のロゴを採用しています。またカラーラインアップはできるだけTC4と被らないようにしました」とデザイナー兼プロデューサーの萩原さん。

強度や軽さといった性能面でも一切妥協のないことは、もはや説明するまでもないだろう。劇的に生まれ変わったRG-4を引っさげて、アドバンホイールが、また新たな伝説を切り開く。



レーシングホワイトメタリック&リング

レーシングハイパーブラック&リング



レーシングコッパーブロンズ

セミグロスブラック

カラーは全4色。レーシングハイパーブラックやレーシングホワイトメタリックの外周には切削加工も施される。トレンド感のあるコッパーブロンズやセミグロスブラックが加わったのも嬉しい。

ADVAN Racing RG-4

漲るような躍動感を手にした
第4世代のRG、堂々完成!!



美しいラインを描くスポークエンドはリムとの繋がり方も含めて吟味が重ねられた。落とし込んだスポークを一気に立ち上げ、直線的なラインでセンターに繋げることでコンケイブを強調する。



スポークの太さはRG3より少し幅広になった。フェイスデザインはスタンダード、GT R、スーパーGTRの3タイプが用意され、いずれも直線的なラインでセンターに落とし込む。



スポーク&センターの側面は大胆にえぐったほか、しつは天面にもわずかな窪みが入れられている。駄肉を削ぎ落とすことで軽量化を果たしつつ、かつてない躍動感を再現しているのだ。

シビックタイプRやGRスープラといった最新スポーツにも対応する豊富なサイズ設定も魅力。HKSのFK8が履くのはRG-4のレーシングハイパーブラック。サイズは前後ともに9.5J+45で、アドバンAD052の265/35R18を組み合わせる。

INCH	SIZE	HOLE	P.C.D.	INSET
18	7.0J	4	100	41
	7.5J	5	114.3	47
			100	50
	8.0J	5	114.3	44
			100	47
	8.5J	5	114.3	50/※44/※37/※30
			100	※44
	9.0J	5	114.3	※35/※25
			120	※53
	9.5J	5	114.3	※45/※35/※12
			100	※45
	10.0J	5	112	※25
114.3			※33/※25	
10.5J	5	114.3	※15	
		112	※32	
11.0J	5	114.3	※30/※15	

●上記サイズ表は国産車サイズを抜粋したもの
●無印：スタンダードデザイン、※印：GTRデザイン、
※※印：SuperGTRデザイン



ADVAN Racing 2021 NEW MODEL

毎年、クルマ好きをワクワクさせてくれるのが、東京オートサロンにおけるアドバンレーシングの展示発表だ。今年はコロナの影響で開催中止を余儀なくされたが、ファンの期待に応えるニューモデルが用意されていた。ここでは注目の3銘柄をクローズアップする。

YFC ☎03-3431-9981 <http://www.yokohamawheel.jp>

ADVAN Racing GT BEYOND

18インチから20インチまで揃い、ラインアップに厚みを増したGT BEYOND。5つのフェイスデザインが用意され、自分好みのスタイルを構築することが可能だ。



レーシングハイパーブラック&リング レーシングチタニウムブラック



レーシングサンドメタリック レーシングコッパーブロンズ レーシングホワイト

待望の18、20インチが新登場！
迫力コンケイブの金型鍛造モデル



外側から一気に立ち上げたうえでより直線的にホイールセンターに落とし込むことで、コンケイブ感を強調している。なお「ADVAN Racing GT」のロゴは3次元加工機による彫り文字仕様。



タイヤを組み込むための窪みがディスク側に来るパレルリムは、ビッグキャリパーと干渉しにくいメリットがある。当然ながら剛性や軽さの追求にも余念はなく、金型鍛造製法により仕上げられる。



スポーク側面の一部にサイドカットを入れることで立体感を演出しているのも特徴。GTならではの力強さを踏襲しつつ、より先鋭的なフォルムを構築しているのだ。



往年のアドバンカーラーで身を包んだGRヤリス。その足元に収められたGT BEYONDのサイズは11J+34。これにアドバンA052の265/35R18をセットする。圧巻の迫力だ。

横浜ゴム 萩原さん



INCH	SIZE	HOLE	P.C.D.	INSET	CONCAVE	
18	7.5J	5	114.3	45	C-1	
				44	C-1	
				44	C-1	
				50	C-1	
				45	C-2	
				43	C-2	
	8.5J	5	114.3	45/37/31	C-2	
				100	45	C-2
				120	43	C-2
				38/25	C-3	
				53	C-2	
				45/38	C-3	
9.5J	5	114.3	29/12	C-4		
			5	C-5		
			100	45	C-3	
			120	45	C-3	
			112	25	C-4	
			114.3	35/25	C-4	
10.5J	5	114.3	24/15	C-5		
			112	32	C-5	
			114.3	30/15	C-5	
			114.3	25	C-5	
			120	45	C-1	
			112	42	C-1	
11.0J	5	114.3	29	C-3		
			112	45	C-2	
			114.3	53	C-2	
			45	C-3		
			22	C-4		
			112	25	C-4	
12.0J	5	114.3	34	C-5		
			112	32	C-5	
			114.3	29	C-3	
			112	25	C-3	
			114.3	35	C-2	
			30	C-3		
19	5	114.3	24	C-4		
			112	32	C-4	
			114.3	15	C-4	
			5	C-5		
			112	35	C-4	
			114.3	20	C-5	
20	5	114.3	24	C-4		
			112	32	C-4	
			114.3	15	C-4	
			5	C-5		
			112	35	C-4	
			114.3	20	C-5	

●上記サイズ表は国産車サイズを抜粋したものです

東京オートサロン2021は中止となってしまいましたが、開催時も私はブースに常駐しない予定でしたので、私の等身大パネルでお客様をお迎えするつもりだったので、私の等身大パネルに負けず魅力的なホイールをご提案できるような頑張っていきますのでご期待ください。



マシニング&ダイヤモンドカット マシニング&ブラックガンメタリック



マシニング&シャンパンゴールド マシニング&レーシングキャンディレッド

カラーは4色を用意。14インチと15インチを設定する。「スプーンキャリパーが逃げるサイズが欲しい」というアメリカのシビック乗りのニーズを汲み取り、8J+30を用意するなど、ユーザーの熱い思いに応える。

トライアングル状のスポークにより美しいアーモンド形状が描かれる。ステップリムの併せ技により乗り感を演出したフラットディスクが個性を際立たせる。



ADVAN Racing Oni2

アドバンレーシングOniと言えば、ドリフトブームの創世記に一世を風靡した名作。鬼キャンが流行った時代に誕生し、当時の若者から熱狂的な支持を集めた。これを現代流にアップデートさせたのが「Oni2」だ。「単なるリバイバルホイールではなく、現行車ユーザーに本当に欲しいと思ってもらえるモデルを目指しました」というデザイナー萩原さんの言葉通り、懐かしさよりも斬新さが際立つモデルに仕上げられている。

ターゲットはズバリ、Kカーやコンパクトカーだ。個性的なトライアングルデザインや四角いナットホールは踏襲しつつ、3ピースだった構造を1ピース化。ピアスボルトを廃したシンプルな造詣美を追求した。

前作は鬼キャンを付けることを想定していたが、Oni2では車高を落とさなくても履ける、そして似合うサイズまで揃えているのもトピックとなっている。



デザイナー萩原さんにとっても思い入れのあるOni。原点に立ち返ってデザインしたという本作は、彫り出しロゴや熱転写シールを採用するなどコスト度外視で作った。



四角いナットホールのギリギリまで攻め込んでいるのが分かる。仕上げにもこだわり、スポークサイドやリムの内周まで着色するなどこだわりを凝縮した。

ADVAN Racing 2021 NEW MODEL

INCH	SIZE	HOLE	P.C.D.	INSET
14	4	100	100	45
				38/45
				38/45
				38
				30
				30
15	4	100	100	45
				38/45
				38/45
				35
				30/42
				40
15	4	100	100	40
				30

●上記サイズ表は国産車サイズを抜粋したものです
●無印：スタンダードデザイン、※印：GTRデザイン

カッコよさの中に可愛らしさが同居するフォルムが魅力的なOni2。N-ONEに収められたサイズは前後とも6.5J+35。タイヤはアドバンAD08Rの165/50R15を履く。



25年の歳月を経て復活！
現代流の解釈を与えた渾身作